

気象庁は、大きな被害を受ける恐れがある台風の進み方の予報を、きめ細かく発表するなど、「台風情報」を見直すことにしました。

気象庁は、台風が中心が進むと思われる範囲を、円の形（予報円）で発表しています。今は、予報円を24時間後や48時間後のように24時間刻みで、5日先まで発表しています。

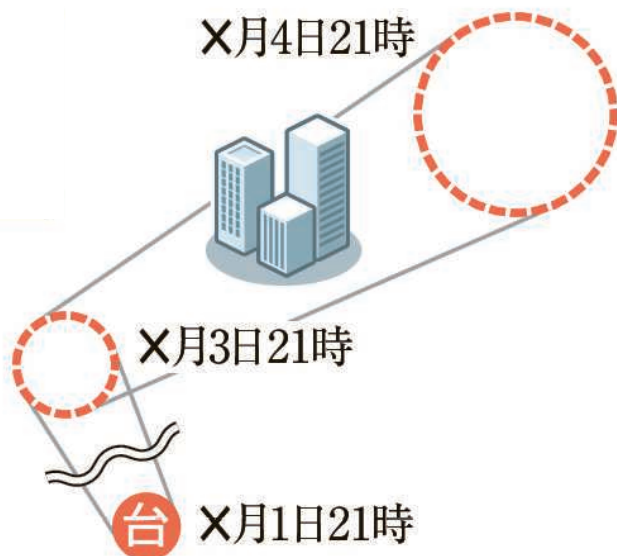
ただ24時間刻みでは、予報円の間隔が広く台風の進み方が分かりにくい場合もあるため、改善が求められていました。気象庁は専門家の意見を聞き、コンピュ

ーターを使う予報の技術が進歩していることから、予報円を6時間刻みにして間を狭くするなど、台風情報を見直すことにしました。5年後までに開始する考えです。

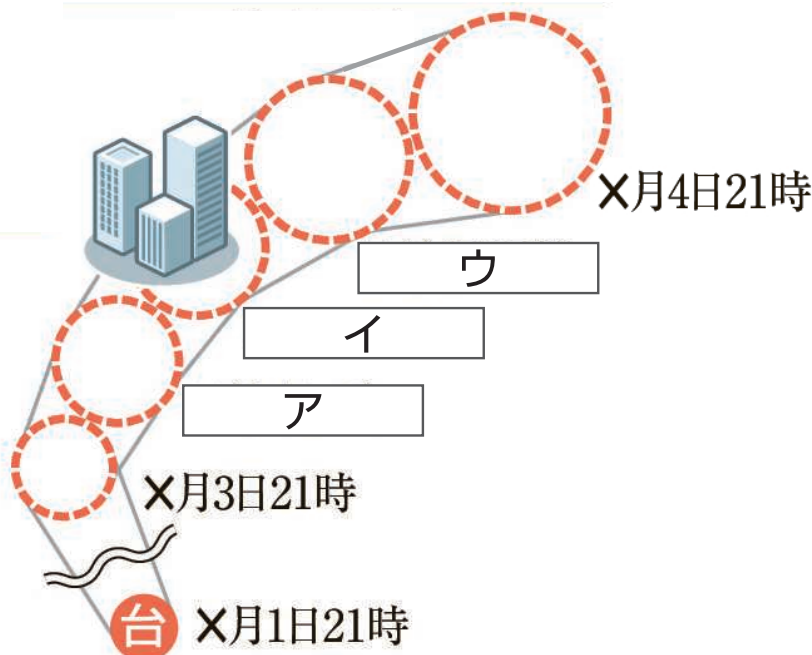
始まれば住民や役所は、台風が自分の地域に近づく日にちや時間帯を早めに頭に入れ、避難準備のような安全を守る行動をしやすくなります。鉄道など交通機関が、運休の計画を決めるのにも役立ちそうです。このほか台風が発生する前から、1～2週間先の見通しなども発表する計画です。

台風情報の見直しのイメージ（気象庁による）

図A



図B



1 見出しの に入る適切な言葉を、下の①～③から選んで番号で書きましょう。

台風情報、

① 5年後から開始 ② 発表する計画 ③ きめ細かく

2 「台風情報の見直しのイメージ」(気象庁による)の 図A 図B には、 図A … ()
①見直し後 ②今 のどちらが入りますか。()に番号を書きましょう。 図B … ()

3 記事の ～~~~~ 線部の示す部分を、「台風情報の見直しのイメージ」(気象庁による)の図Aに
↔ で書き入れましょう。

4 「台風情報の見直しのイメージ」(気象庁による)の図Bにあるア、イ、ウに入る日時を右の から選んで番号で書きましょう。

ア … () イ … () ウ … ()

①×月4日9時 ②×月4日0時
③×月3日24時 ④×月4日3時
⑤×月4日15時